

## 健康商談室



上次，我们在老年认知症的基础知识①中，为大家列举了“忘事儿”和“老年认知症”的区别。此次，我们将继续就“阿尔兹海默氏认知症”和“血管性认知症”这两种疾病，给大家做一个介绍。

## 认知症的基础知识②

## 何谓认知症

大多数认知症，都属于“阿尔兹海默氏认知症”或是“血管性认知症”！

认知症，是源于大脑的某种病理障碍。而引发大脑出现认知症状的元凶，却是发生于颅骨内的疾病，以及发生于人体内的各种疾病。只是，所谓的认知症，大多数都属于“阿尔兹海默氏认知症”或是“血管性认知症”两类。其中不乏只要对引发认知症的病源进行正确治疗，就可以减轻认知症症状的情况，只是这样的例子，据说约占整个认知病例的百分之十。

## 引发认知症的病源

引发认知症的病源有很多。

- 1 阿尔兹海默病 → 阿尔兹海默氏认知症
- 2 脑血管障碍（脑梗塞、脑溢血等） → 脑血管性认知症
- 3 弥漫性路易体病 → 弥漫性路易体认知症
- 4 额颞叶病变、皮克病等 → 额颞叶型认知症
- 5 其它疾病

慢性硬脑膜下血肿（可通过手术治疗）、正常颅压脑积水（同前）、脑瘤、脑炎、神经系统病变、药物中毒、欠缺症、代谢异常等

## 何谓阿尔兹海默氏认知症

所谓阿尔兹海默氏认知症，是所有认知病症中罹患率最高的疾病。其发病原因现在还不尚清楚，只是当人体大脑内部出现各种变化，脑神经细胞急剧减少，导致大脑萎缩（变小）时，人便会罹患智力大幅度减退及人格瓦解的认知病症。

## 健康相談室

今回は認知症の基礎知識①で「もの忘れ」と「認知症」の違いについて取り上げましたが、今回はその続きとして「アルツハイマー型認知症」と「脳血管性認知症」について紹介します。

## 認知症の基礎知識②

## 認知症とは

認知症の多くは、「アルツハイマー型認知症」と「脳血管性認知症」です！

認知症は、脳の病的に障害されており、その原因となる病気は、頭蓋内の病気によるもの、身体の病気によるものなど、たくさんあります。しかし、多くは「アルツハイマー型認知症」と「脳血管性認知症」です。なかには、原因となる病気を適切に治療することで認知症状が軽くなるものもあり、それらは認知症全体の約 1 割を占めているといわれています。

## 原因となる病気

原因となる病気はたくさんあります。

- 1 アルツハイマー病 → アルツハイマー型認知症
- 2 脳血管障害（脑梗塞、脳出血など） → 脳血管性認知症
- 3 びまん性レビー小体病 → レビー小体型認知症
- 4 前頭側頭葉変性症、ピック病など → 前頭側頭型認知症
- 5 その他  
慢性硬膜下血腫（手術で治療可能）、正常圧水頭症（同前）、脳腫瘍、脳炎、神経変性疾患、薬物中毒、欠缺症、代謝異常など

## アルツハイマー型認知症とは

アルツハイマー型認知症とは、認知症をきたす疾患の中で一番多い疾患です。その原因は不明ですが、脳内でさまざまな変化がおこり、脳の

这种疾病的初期症状发展得比较缓慢，其特征是丢三落四的情况慢慢地、渐渐地变得严重。很久以前的事情记得很清楚，可是最近发生的事情却记不住。因此，病人往往会三番五次地反复询问同样的问题，或是忘记把东西搁哪儿了。要不就是把前一天打过的电话忘得一干二净，第二天又给对方打去内容相同的电话。有些患者的初期症状表现为出现抑郁或妄想行为。而初期患者不会出现运动麻痹（瘫痪）、行走障碍及大小便失禁等症状。同时，通过 CT 断层扫描或 MRI 核磁共振成像检查，往往都会显示大脑正常或有程度稍大一些的脑萎缩而已。

神経細胞が急激に減ってしまい、脳が萎縮して（小さくなって）高度の知能低下や人格の崩壊がおこる認知症です。初期の症状は、徐々に始まり、ゆっくり進行するもの忘れが特徴です。古い記憶はよく保たれていますが、最近の出来事を覚えることができません。そのため同じことを何度も何度もきかえしたり、置き忘れが多くなります。昨日お礼の電話をしたことを忘れて今日また同じ相手に電話などということがあります。抑うつや妄想ではじまることもあります。運動麻痺や歩行障害、失禁などの症状は初期にはありません。CT や MRI などの画像検査も正常かやや脳の萎縮がつよいという程度です。

**アルツハイマー型認知症の特徴**

**アルツハイマー型認知症の特徴**

◆アルツハイマー型認知症の臨床診断（各阶段）和臨床特征

◆アルツハイマー型認知症の臨床診断（ステージ）と臨床的特徴

臨床診断（各阶段） 臨床診断（ステージ）	臨床的特徴	臨床特征
轻度認知症 軽度の認知症	<ul style="list-style-type: none"> <li>年月日の感覚が不確か《時間の見当識障害》</li> <li>夕食の準備や買い物（必要な材料、支払い）で失敗する</li> <li>近所以外では迷子になる《場所の見当識障害》</li> <li>買い物をして一人でできない</li> <li>季節に合った服、釣り合いの取れた服が選べず、服をそろえるなど介助が必要となる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年月日の感覚變得模糊，即出現“時間上的認知障礙”</li> <li>無法準備晚餐或买东西（買不回需要买的菜，付不清楚錢）</li> <li>走到离家稍远一点兒的地方，便会迷路，即出現“方位上的認知障礙”</li> <li>一個人無法买东西</li> <li>無法根據季節變換選擇適當的衣服，更無法進行基本的服裝搭配，這些都需要他人幫助</li> </ul>
中度認知症 中等度の認知症	<ul style="list-style-type: none"> <li>入浴を忘れることがあるが、自分で体をきちんと洗うことができ、お湯の調節もできる</li> <li>自動車を安全に運転できなくなる</li> <li>大声をあげるなどの感情障害</li> <li>や多動、睡眠障害により、医師による治療的かわりがしばしば必要になる</li> <li>配偶者や子供の顔もわからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有时会忘记洗澡，但是有能力自行沐浴擦身，也能自行调节热水的温度</li> <li>失去安全驾车的能力</li> <li>由于出现大声吵闹等情绪障碍、多动症及睡眠障碍，因此需要经常就医等进行医疗干预</li> <li>无法识别配偶或子女的面容，即出現“人物認知障礙”</li> </ul>

	<p>《人物の見当識障害》          ・家の中でもトイレの場所がわからない          [ 着衣に介助が必要 ]          ・寝巻きの上に普段着を重ね着してしま          う          ・ボタンをかけられなかったり、ネクタイをきちんと結べない          [入浴に介助が必要]          ・お湯の温度や量の調節ができない          ・体をうまく洗えない          ・風呂から出た後、体を拭くことができない</p>	<p>・即使在家中，也找不到厕所所在哪儿          [需要别人帮助其穿衣服]          ・不脱睡衣就穿平时穿的衣服          ・无法扣扣子，无法系领带          [需要别人帮助其洗澡]          ・无法调节热水的温度及水量          ・无法自行将身体洗干净          ・从浴室出来后，无法自行擦干身体</p>
<p>重度認知症  <small>高度の認知症</small></p>	<p>[トイレに介助が必要]          ・きちんと拭くことを忘れる、また済ませたあと服を直せない          [尿・便失禁]          [言語機能、語彙の衰退]          ・話し言葉が途切れがちになり、単語、短い文節に限られてくる          ・さらに進行すると、理解しうる語彙はただ1つの単語となる          [歩行能力の衰退]          ・ゆっくりした小刻みの歩行となり、階段の上り下りに介助を要する</p>	<p>[需要别人帮助其上厕所]          ・上厕所后忘记擦屁股，或是不知知道重整衣冠。          [大小便失禁]          [语言、词语能力减退]          ・说话出现断断续续的情况，只能说一些单词或短句          ・症状进一步发展的话，会出现只说得出来个别单词的情况          [行走能力的衰退]          ・变得只能一小步、一小步地走，上下台阶时需要他人帮助</p>

監修：認知症護理研究・研修東京中心 本間 昭 住友病院神経内科 宇高 不可思

改自 Reisberg, B. et al.: Special Research Mehods for Gerontology. Baywood., 195-231 (1989)

監修：認知症介護研究・研修東京センター 本間 昭、住友病院神経内科 宇高 不可思

Reisberg, B. et al.: Special Research Mehods for Gerontology. Baywood., 195-231 (1989) より 改変

◆在我们的脑内到底发生了什么？

具有阿尔兹海默氏认知症特征的大脑变化，有以下几种：

1 大脑皮质出现明显萎缩

若罹患阿尔兹海默氏认知症，整个大脑（特别是颞叶及顶叶）将逐渐萎缩（变小）。正常人大脑的重量一般为 1,400 克左右，若罹患阿尔兹海默氏认知症，十年后大脑的重量将减少至 800~900 克。

可以看出与正常人相比，认知症患者的大脑变小了。

◆脳内では何がおきているのか？

アルツハイマー型認知症の特徴的な脳の変化は、以下があげられます。

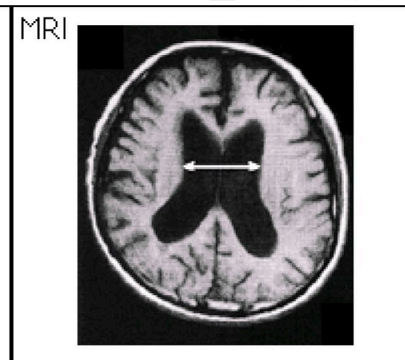
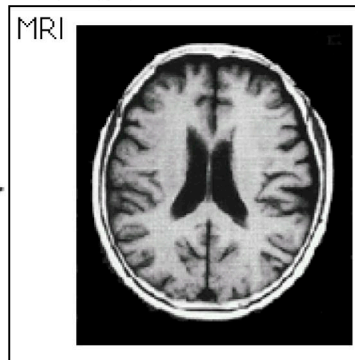
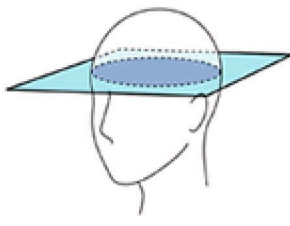
1 大脳皮質に著しい萎縮がみられる

アルツハイマー型認知症では、脳全体（特に側頭葉や頭頂葉）が萎縮して（小さくなって）いきます。成人では通常 1,400グラム前後ある脳の重さが、発症後 10 年位たつと 800~900 グラム以下に減ってしまいます。

正常な脳と比べてみると、脳が小さくなっていることがわかります。

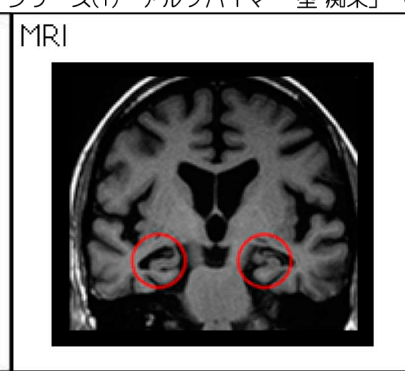
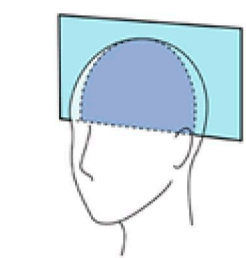
正常人（脳）  
正常（脳）

アルツ海默氏認知症患者（脳）  
アルツハイマー型認知症（脳）



摘自ワールドプランニング《痴呆性疾患の画像診断系列（1）》（1997）

わーどぷらんにんぐ ちほうしょうしかん がぞうしんだんしりーず がた  
ワールドプランニング「痴呆性疾患の画像診断シリーズ(1) アルツハイマー型痴呆」(1997) より



图像提供：東京医科大学病院 老年病科 羽生 春夫 画像提供：東京医科大学病院 老年病科 羽生 春夫  
颞叶下角の扩张为重要症状。特别是海马及其周围组织（用○圈出的部位）萎缩尤为突出，乃进行性阿尔兹海默氏认知症（五年内的变化）下角の扩大が大切。特に海馬とその周辺（○で示したところ）の萎縮は重要で進行性です。（5年間の变化）

2 出现老人斑、神经纤维变性及神经细胞脱落的情况

在显微镜下观察阿尔兹海默氏认知症患者的脑细胞，就会发现在神经细胞之间有老人斑（像斑痕一样的东西）生成，或是神经细胞内出现神经纤维（好像细线般的東西）缠绕的情况。并且，随着老人斑及神经纤维变性的增多，致使神经细胞不断减少。

3 神经传输物质出现异常

神经传输物质出现异常，被认为与阿尔兹海默氏认知症有着密不可分的关系。已经证明，罹患阿尔兹海默氏认知症的人，其神经传输物质会日渐减少，而关系到记忆功能的神经传达物质 — 乙酰胆碱的减少，则尤为明显。（未完待续）

摘自《认知症之基础知识》（关于认知症的网页 www.e-65.net）

2 老人斑、神经原纤维变化、神经细胞的脱落

阿尔兹海默氏型認知症の脳を顕微鏡で観察すると、神経細胞と神経細胞の間に老人斑（シミのようなもの）や神経細胞の中に神経原纤维变化（糸くずのようなもの）がみられます。そして老人斑や神経原纤维变化の増加に伴い、神経細胞が減っていきます。

3 神经伝達物質に異常が生じている

神经伝達物質の異常は、アルツハイマー型認知症の発現に深く関与しているものと考えられます。アルツハイマー型認知症では、いろいろな神经伝達物質の減少がみられますが、記憶の働きに関わる神经伝達物質アセチルコリンの減少が特に強いことが明らかにされています。[続く]

「認知症の基礎知識」（認知症を知るホームページ www.e-65.net）より抜粋